

「消費動向調査」の調査中止による欠測世帯を補完した結果について

平成 23 年 5 月 16 日
内閣府経済社会総合研究所
景気統計部

東日本大震災の影響により、平成23年4月調査においては、3調査区（岩手（1調査区）、宮城（2調査区））で調査が中止されたことから、回収率は74.1%（平年約75%、3月73.0%）となった。^{*} 回収率の低下による誤差率の上昇は軽微だが、参考までに、欠測調査区の回答を東北地域の回答結果で補完した場合の消費者態度指数及び消費者意識指標の集計結果（一般世帯、原数値）を公表する。なお、1調査区当たりの世帯数は、一般世帯14世帯、単身世帯6世帯の計20世帯であり、3調査区分の世帯数（計60世帯）は全体（6,720世帯）の0.9%となる（表1）。

表1 調査中止の3調査区の標本数に占めるシェア

対全国	対北海道・東北	対東北
0.9%	7.0%	10.7%

(注) 1. 全国の標本数は、一般4,704世帯、単身2,016世帯、計6,720世帯。
2. 東北は、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県の6県。

具体的には、3調査区の一般世帯数（42世帯）に同調査区の2月の回収率（71.5%）を乗じて得られた世帯数（30世帯）について、4つの消費者意識指標の回答5区分（例えば「暮らし向き」ならば、「良い」、「やや良い」、「変わらない」、「やや悪い」、「悪い」）別の構成比が、今回の東北地域と同じ構成比と仮定して補完し、再集計した。各消費者意識指標及び消費者態度指数（一般世帯、原数値）における公表値および補完した値ならびにその差分は表2のとおりである。

表2 補完後の消費者意識指標・消費者態度指数（一般世帯、原数値）

	暮らし向き	収入の増え方	雇用環境	耐久消費財の 買い時判断	消費者 態度指数
公表値（全国）(A)	34.9	36.9	28.1	33.5	33.4
公表値(北海道・東北)(B)	30.4	33.6	24.3	31.6	30.0
再集計値（東北6県のみ）	28.8	30.8	21.7	30.1	27.9
補完後(全国)(C)	34.8	36.9	28.1	33.5	33.3
補完後(北海道・東北)(D)	30.3	33.4	24.1	31.5	29.8
差分(C)-(A)	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1
差分(D)-(B)	0.1	0.2	0.2	0.1	0.2

^{*}今後、調査実施が困難な調査区については、同じ県内で都市規模（世帯数）が同等とみなされる別の市町村から新たに選定した調査区へ切り替える。切り替えは、平成23年6月調査以降となる予定である。調査実施が困難な調査区は、岩手（1調査区）、宮城（3調査区）、福島（1調査区）の計5調査区。今回4月調査では、このうち、宮城（1調査区）、福島（1調査区）において調査が実施できたが、うち、宮城は単身世帯の回収が低下しており、福島は平成23年5月が世帯交替月に当たるものの、新規に世帯を抽出することが困難なことから、他の調査区に切り替えることとした。